

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 櫻護謨

コード番号 5189 URL <http://www.sakura-rubber.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中村 浩士

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 総務・資材・物流担当兼 総務部長 (氏名) 中野 伍朗

TEL 03-3466-2171

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,023	18.9	406	133.4	376	167.5	222	197.6
21年3月期第2四半期	3,385		174		140		74	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	22.12	
21年3月期第2四半期	7.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	10,116	2,860	28.3	284.73
21年3月期	10,849	2,717	25.0	270.41

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,860百万円 21年3月期 2,717百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		0.00		7.00	7.00
22年3月期		0.00			
22年3月期 (予想)				5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

21年3月期期末配当金の内訳 記念配当2円00銭を含む

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,970	5.6	620	42.2	540	37.8	280	105.9	27.87

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 社 (社名) 除外 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、5ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無
 以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	10,120,000株	21年3月期	10,120,000株
期末自己株式数	22年3月期第2四半期	72,148株	21年3月期	71,691株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	10,048,178株	21年3月期第2四半期	10,049,124株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断した前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ[定性的情報・財務諸表等]3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】**1. 連結経営成績に関する定性的情報**

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の在庫調整の進展に伴い、生産・輸出には持ち直しの兆しと、コスト削減効果により企業業績は改善傾向にありますが、設備投資の抑制や個人消費の低迷等など景気の本格的な回復については依然予断を許さない状況にあります。

このような状況のもとで当社グループといたしましては、新事業の展開、付加価値の高い製品の企画・開発、生産性の向上、新製品の開発、金融収支の改善などの努力をいたしました。

その結果として、売上高は40億2千3百万円（前年同期比18.9%増）、営業利益4億6百万円（前年同期比133.4%増）、経常利益3億7千6百万円（前年同期比167.5%増）、四半期純利益2億2千2百万円（前年同期比197.6%増）となりました。

これを事業の種類別セグメントで見ますと、次のとおりであります。

・製造事業

消防・防災部門では、第1四半期に「安心実現のための緊急総合対策」として執行された平成20年度第一次補正予算の防災資機材と消防ホースの販売増により大幅に前年同期実績を上回りました。航空・宇宙部門では、当第1四半期に一部機種 of 先行調達があったもののP-1機の計画遅延による販売減により販売は前年同期実績に比べ微減となりました。工業用品・その他の部門では、建機向けホース及び金具と発電所向けホースの販売が前年同期実績に比べ減少しました。

その結果、売上高は38億2百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

・不動産賃貸事業

不動産賃貸事業の売上高は、個人消費の低迷と一部テナントの退店の影響で2億2千1百万円（前年同期比6.7%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報**(1) 資産、負債及び純資産の状況****資産**

当第2四半期連結会計期間末の流動資産は、61億8千6百万円（前連結会計年度末比7億6千8百万円減）となりました。これは主として、受取手形及び売掛金が資金化されたことと前期末に集中した売掛債権の入金を、支払債務、借入金の返済に充当したことによるものです。

固定資産は、39億2千9百万円（前連結会計年度末比3千5百万円増）となりました。これは主として固定資産の投資を行ったことと貸倒れ償却を行ったことによるものです。

この結果、資産合計は101億1千6百万円（前連結会計年度末比7億3千2百万円減）となりました。

負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、45億4千7百万円（前連結会計年度末比7億7千4百万円減）となりました。これは主として、買掛金と短期借入金の減少によるものです。

固定負債は、27億7百万円（前連結会計年度末比1億1百万円減）となりました。これは主として長期借入金の返済によるものです。

この結果、負債合計は、72億5千5百万円（前連結会計年度末比8億7千6百万円減）となりました。

純資産

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、28億6千万円（前連結会計年度末比1億4千3百万円増）となりました。これは主として当四半期純利益が増加し、利益剰余金が増加したことによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末より4億8千6百万円減少の10億7千3百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として税金等調整前四半期純利益3億7千6百万円、減価償却費9千6百万円、売上債権の減少額9億2千9百万円などの資金増加項目に対し、たな卸資産の増加額3億2千8百万円、仕入債務の減少額6億1千3百万円、利息の支払額4千5百万円、法人税等の支払額1億1千万円などの資金減少項目による結果、営業キャッシュ・フローは6千3百万円の資金の増加（前年同期は3億7千2百万円の資金の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主として設備投資に1億3百万円、その他投資活動に3千2百万円を投下したことにより1億2千5百万円の資金の減少（前年同期は2千5百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として長短借入金の減少4億3千6百万円、社債の発行・償還による増加8千2百万円と配当金の支払7千万円などにより4億2千4百万円の資金の減少（前年同期は1億8千5百万円の資金の減少）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、製造部門における消防防災部門の牽引により当初予想を上回りました。第3四半期以降、原材料の値上がり等が懸念される一方、消防防災部門では国民の安全・安心を確保するために大規模地震、テロ、特殊災害などに対する防災体制整備が急務となっており、補正予算による具現化が大規模に進められております。このため当社の主力製品の消防ホース、高機能防災資機材などの販売が堅調に推移するものと想定され、売上高、営業利益、経常利益及び当期純利益が平成21年5月14日発表の業績予想を上回ると予想されるため、平成21年10月29日に通期連結業績予想を連結売上高89億7千万円、営業利益6億2千万円、経常利益5億4千万円、当期純利益2億8千万円と修正発表を致しました。

4.その他

(1) 期中における子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

当第2四半期の棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積もり、簿価切下げを行う方法によっております。

法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の算定方法は、加味する加減算項目などを重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境や一時差異等の発生状況に著しい変化が無いと認められるため、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

会計基準等の改正に伴う変更

該当事項はありません。

以外の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,242,580	1,728,686
受取手形及び売掛金	2,209,767	3,139,170
商品及び製品	113,832	119,425
半製品	492,603	345,791
仕掛品	989,339	817,314
原材料及び貯蔵品	478,920	463,744
その他	737,157	408,128
貸倒引当金	77,456	66,928
流動資産合計	6,186,744	6,955,333
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,859,545	1,893,794
土地	1,301,027	1,301,027
その他(純額)	344,650	295,866
有形固定資産合計	3,505,224	3,490,688
無形固定資産		
	30,436	30,436
投資その他の資産		
投資有価証券	115,667	114,692
その他	523,926	513,032
貸倒引当金	245,909	255,152
投資その他の資産合計	393,684	372,572
固定資産合計	3,929,346	3,893,697
資産合計	10,116,091	10,849,031

(単位:千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,004,971	1,618,440
短期借入金	1,280,000	1,530,000
1年内償還予定の社債	64,000	32,000
1年内返済予定の長期借入金	1,143,169	1,197,442
未払法人税等	165,661	116,065
賞与引当金	229,660	216,014
役員賞与引当金	23,502	48,000
その他	636,946	564,795
流動負債合計	4,547,910	5,322,758
固定負債		
社債	420,000	368,000
長期借入金	1,354,522	1,486,645
退職給付引当金	438,694	455,550
役員退職慰労引当金	151,347	173,853
その他	342,652	325,077
固定負債合計	2,707,216	2,809,125
負債合計	7,255,126	8,131,884
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,000	506,000
資本剰余金	285,430	285,430
利益剰余金	2,129,722	1,977,771
自己株式	26,831	26,727
株主資本合計	2,894,321	2,742,474
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,991	4,073
繰延ヘッジ損益	37,348	29,401
評価・換算差額等合計	33,357	25,327
純資産合計	2,860,964	2,717,147
負債純資産合計	10,116,091	10,849,031

(2)【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	3,385,253	4,023,658
売上原価	2,385,084	2,795,708
売上総利益	1,000,168	1,227,950
販売費及び一般管理費	825,936	821,300
営業利益	174,231	406,649
営業外収益		
受取利息	787	348
受取配当金	2,059	1,610
貯蔵品売却収入	-	12,560
保険返戻金	10,115	-
その他	16,248	13,962
営業外収益合計	29,210	28,481
営業外費用		
支払利息	47,329	42,160
社債利息	1,642	3,082
社債発行費	6,228	1,559
その他	7,547	12,027
営業外費用合計	62,747	58,830
経常利益	140,693	376,300
特別利益		
固定資産売却益	37	-
特別利益合計	37	-
特別損失		
固定資産除却損	242	270
特別損失合計	242	270
税金等調整前四半期純利益	140,488	376,030
法人税、住民税及び事業税	66,673	159,182
法人税等調整額	872	5,441
法人税等合計	65,800	153,740
四半期純利益	74,687	222,289

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	140,488	376,030
減価償却費	86,441	96,132
貸倒引当金の増減額(は減少)	24,511	1,284
賞与引当金の増減額(は減少)	8,841	13,646
役員賞与引当金の増減額(は減少)	22,300	24,498
退職給付引当金の増減額(は減少)	29,350	16,855
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	24,785	22,506
受取利息及び受取配当金	2,847	1,958
支払利息	48,971	45,243
保険返戻金	10,115	-
社債発行費	6,228	1,559
固定資産売却損益(は益)	37	-
固定資産除却損	242	270
売上債権の増減額(は増加)	494,691	929,403
たな卸資産の増減額(は増加)	2,685	328,419
仕入債務の増減額(は減少)	110,259	613,469
その他	156,059	238,594
小計	457,349	217,268
利息及び配当金の受取額	2,847	1,958
利息の支払額	48,764	45,030
法人税等の支払額	38,901	110,262
営業活動によるキャッシュ・フロー	372,530	63,933
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	30,000	-
有形固定資産の取得による支出	23,008	103,020
有形固定資産の売却による収入	95	-
投資有価証券の取得による支出	600	1,112
貸付金の回収による収入	1,200	1,200
その他の支出	6,682	32,118
その他の収入	33,532	9,408
投資活動によるキャッシュ・フロー	25,464	125,642
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	293,771	98,440
社債の償還による支出	400,000	16,000
短期借入金の純増減額(は減少)	220,000	250,000
長期借入れによる収入	510,000	480,000
長期借入金の返済による支出	758,829	666,396
自己株式の取得による支出	220	104
配当金の支払額	50,249	70,338
財務活動によるキャッシュ・フロー	185,527	424,397
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	161,538	486,106
現金及び現金同等物の期首残高	781,678	1,559,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	943,217	1,073,380

(4) 継続企業の前提に関する注記

前第2四半期連結会計期間及び当第2四半期連結会計期間ともに該当事項はありません。

(5) セグメント情報

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間ともに後日提出予定の四半期報告書に記載致しますので、開示を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

前第2四半期連結累計期間及び当第2四半期連結累計期間ともに該当事項はありません。